

## 新年に向けて

J A しずない女性部 部長 木田 正子



新年明けましておめでとうございます。  
います。

組合員、各関係機関の皆様におかれましては、新たな年をご家族お揃いで健やかに迎えのことに  
お慶び申し上げます。

豊作を願い、自然の恩恵を受けながら営む農業に、近年は、毎年のように豪雨・暴風・大雪といった自然災害が降りかかり、胸の痛む想いです。

農業に対して、厳しい環境の中、昨年はT P Pの大筋合意、農協改革と農家の努力だけでは避けられない時代を迎えたように思います。  
この逆境の中「協同の精神」「協同の力」を信じ、女性部活動を進めていきたいと考えております。

女性部活動について、昨年は、

## 新年を迎えて

J A しずない青年部 部長 落合 信幸



新年あけましておめでとうございます。  
います。

組合員、各関係機関の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素から青年部活動に対しましては、深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

T P P協定交渉は、昨年の9月下旬から10月上旬にかけてアメリカ・アトランタで行われた交渉で大筋合意をみせ、農林水産物の関税は、全体の8割が即時もしくは段階的撤廃の対象となり、聖域とされた重要5品目についても3割が関税撤廃になるなど、日本において今までにない農畜産物の市場開放がなされる結果となりました。  
このような先行きが不透明な状

況の中で、私たち青年部員一人一人が、事業や研修等を通して、視野を広げ、様々なところで得た知識を糧として、知恵を出し合い、厳しい時代を乗り越えていけるよう取り組んで参ります。

昨年の青年部の活動と致しましては、しずない農業まつりへの出店、ハロウインの開催、小学校への食育出前授業等の取り組みを行いました。

特に小学生を対象に行った食育出前授業では、消費者と生産者との繋がりを築くための大切な第一歩として、「食」の大切さを伝えていきたいと考えております。

本年も組合員の皆様をはじめ、各関係機関の皆様にとりまして、各関係機関の皆様にとりまして、素晴らしい一年となりますようご祈念申し上げます、新年のご挨拶と致します。

